

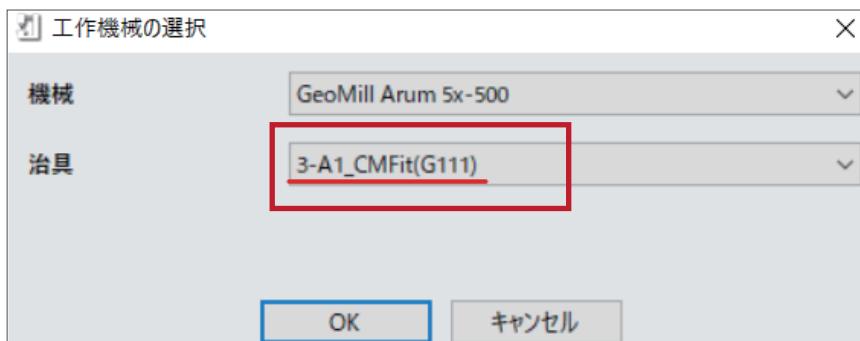


Tech manual

hyperDENT - CMFit 配置方法

① 工作機械の選択

「工作機械の選択」でミリングマシーンと「治具」を選択する



② ブランクの読み込み

ブランクの「新規作成 ...」から「ブランク種類の選択」で CMFit の種類とサイズを選び、配置位置を決める

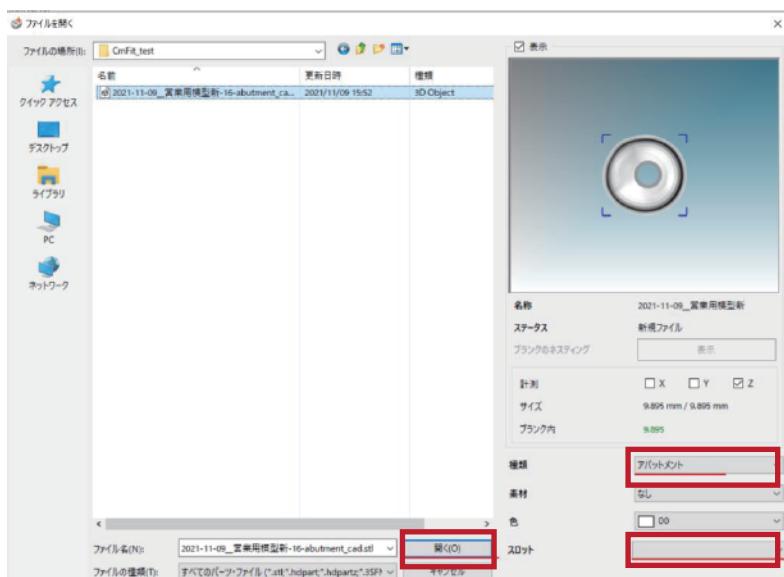


CM-Fit 配置位置の選択

CM-Fit のサイズ選択

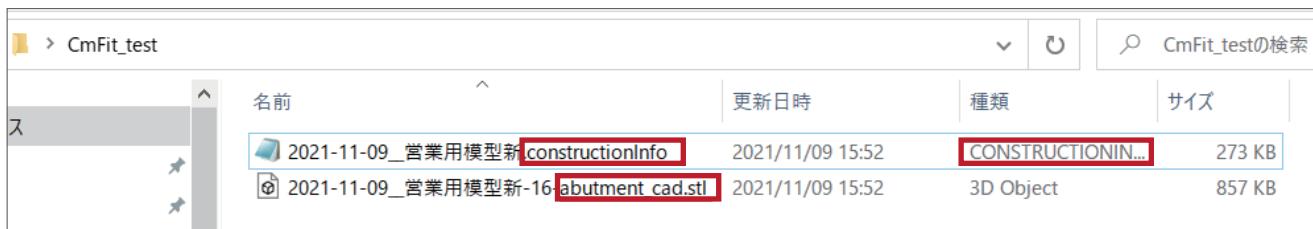
③ パーツの読み込み

加工物のファイルを選択し、種類、配置するスロット(場所)を選択する

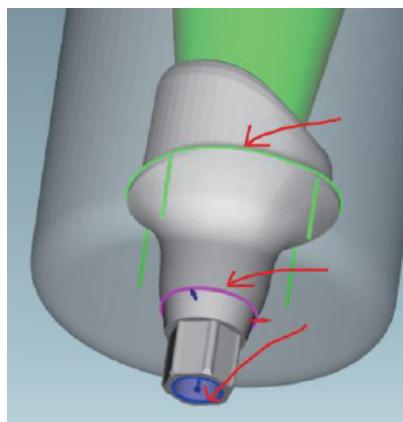


exocad でデザインを行ったとき（ジオライブラリ使用）

*construction Info ファイルと切削する STL データが同じフォルダ内にあれば方向性などが自動で設定される

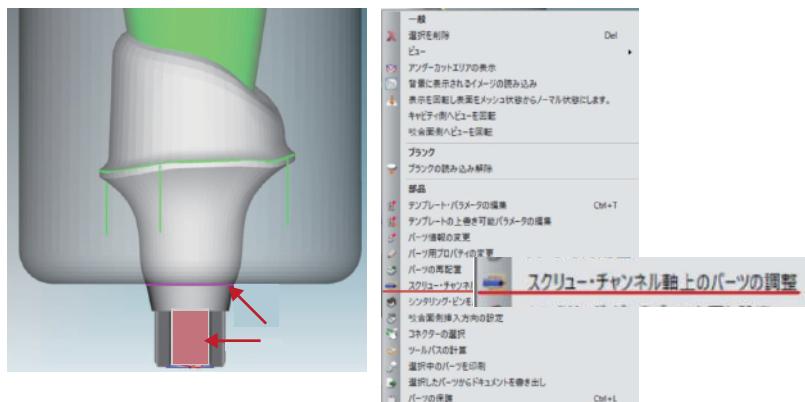


④ 基準線、ホールの確認



修正時はパーツフェューチャーの確認から再設定

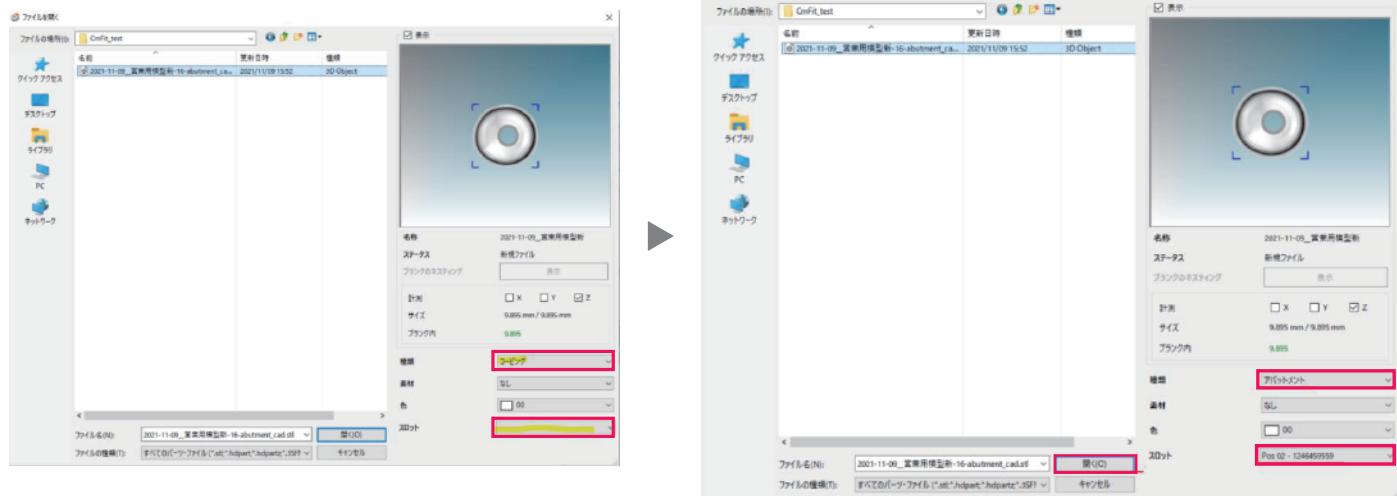
⑤ ベースライン、ヘックスの面の確認（実際にジグに取り付けた際の面の向きと同じか）



修正時は加工物を選択した状態で右クリック

3D データのみの場合

① パーツの読み込み



② 切削方向の設定



画面に表示されている向きが咬合面か支台歯側かを選択する（この写真ではヘックス部が見えるため、**支台歯**を選択）

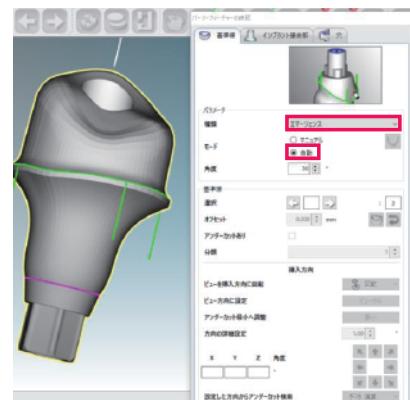
① パーツフューチャーの確認

- アバットメントベースの設定（実物と見比べてアバットメントベースラインを引く）

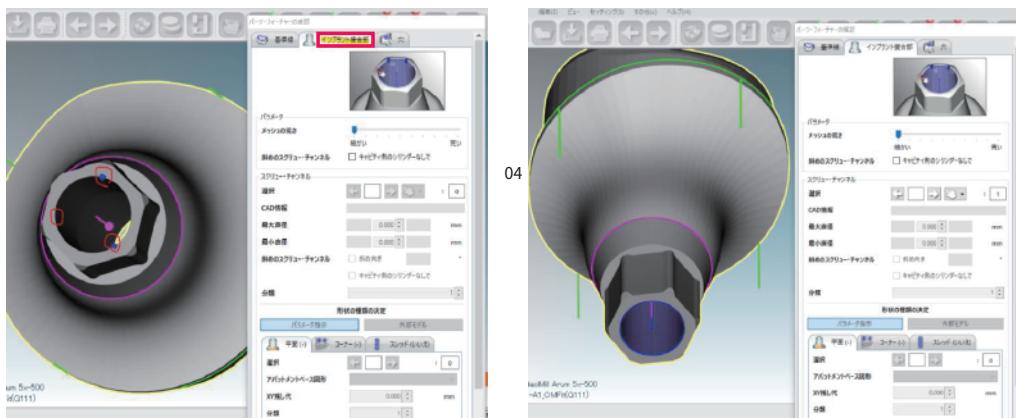


- エマージェンスラインの設定

（認識が上手くいかない場合は
マニュアルを選択する）

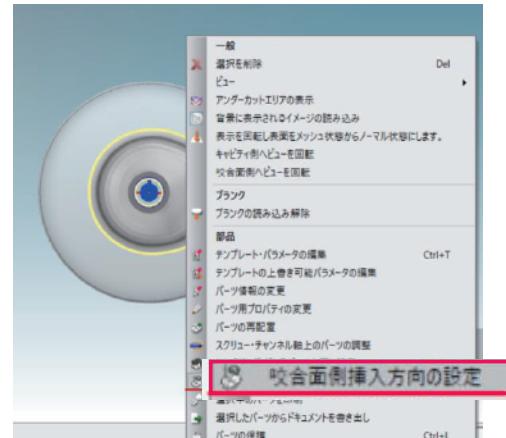


- インプラント接合部の設定（接合部側から3点選択してホールの認識）

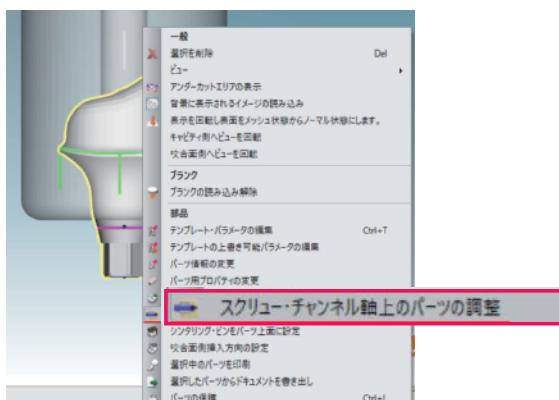


- 咬合面側挿入方向の設定

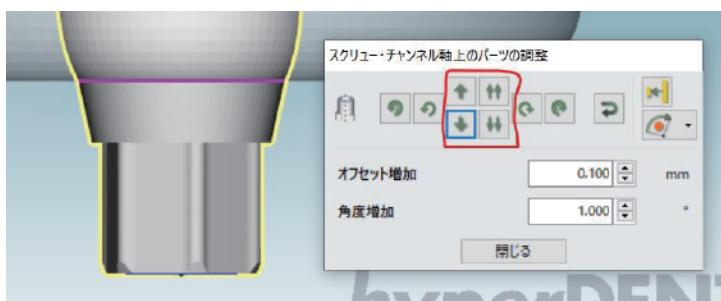
（加工物の咬合面側が正面を向くように
視点を変えて設定する）



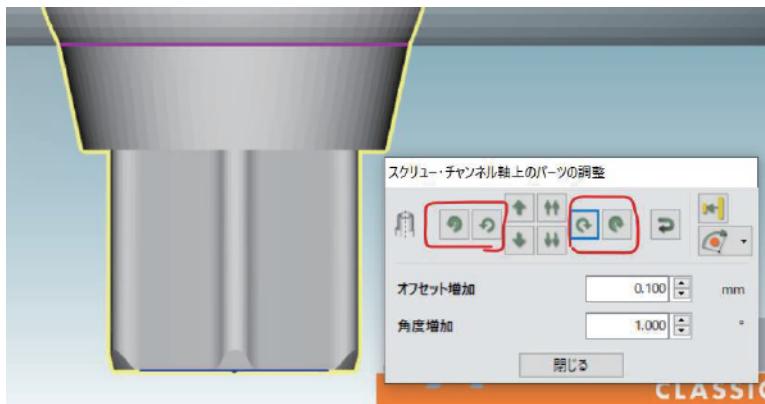
- スクリューチャンネル軸上のパーツの調整（加工物とCMFitの位置とヘックス部の面を合わせる）



- アバットメントベース位置合わせ



- 嵌合部の角度合わせ（ジグに設置した際に表側から見た嵌合部の角度に合わせる）



- コネクターの設定

